

2025年3月28日

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号NO.

氏名 M・K (茨城在住)

■2級技能士を目指したきっかけ

●国家資格キャリアコンサルタント取得後、キャリアコンサルティング技能検定2級に挑戦するも合格基準には至っていませんでした。

その為、各団体のさまざまな講座に参加し実力を伸ばしてきましたが、毎回未達成に終わりました。その時応援してくれている仲間より絶対あきらめるなと声をかけられ、5年目となり受検回数が10回目になってしまいました。

最後と思い1級技能士の会の個人指導に申込みましたが、その時は未達成でした。

しかし、指導者の方からもう一度基本からやり直してみないかと言われ、背中を押され覚悟を決め、腹を決めたのがきっかけでした。

事務局に各先生の個別レッスンをお願いし、10月12日から毎週90分のレッスンを受けることになりました。

各先生方の熱い愛情により、途中から理解が進むと、苦痛から楽しいと感じるようになり、充実感がありました。

■当初の勉強法

●レッスン内容は、担当する講師の個人差はありますが、過去の5ケースを時間の許す限り繰り返しロープレを行うことで、何を問われているのかの評価区分がわかってきました。指導者よりアドバイスをいただきながら理解を高めていくことは大事です。

●目標と方策の実行のアプローチ体験ができることで自信がついたことが、印象に残りました。

●ケース検討を細目を実施して、5ケースロープレのレッスンは本試験と同じ試験方式で行いました。更に、口頭試問も含む(なるべく簡潔に)時間管理が身につくことで自信がついたことは良かったです。

●CL視点の問題とCC視点の問題の違いを徹底的に正しく理解することが、口頭試問で役に立ちました。

■合格のきっかけ

●レッスン時間は、数か月2800時間をかけて全身全霊で本気でレッスンに励みました。しかし、時間が経つとこれでいいだろうかと不安もありました。

ある先生から十分レッスンしたので、これからは自分らしさをだし、相談者に全身全霊で向き合うことを言われたことで、吹っ切れました。

●評価区分に当てはまる内容を理解することにより加点がもらえることを学習し、それに向けて取り組みました。

●口頭試問の伝え方について抽象的ではなく客観的に捉え具体的に意識するよう何度もレッスンしました。

●試験官が、納得していただけるような答え方を繰り返しレッスンすることにより、引き出しが増え当日に焦らなくて済むことができました。

■ 論述試験対策

- 技能士の会のセミナーに積極的に参加し、論述試験の構造をしっかりと理解しました。過去問題を繰り返し手書きで記述することで確実に実力を身につける。
- 過去問題を手軽なパソコンではなく、あえて手書きで繰り返し書く練習をすることで、書くべき内容が理解できていたので当日に慌てなくてすむこと。

■ 面接試験対策

- 前半は、相談者が気持ちよく話してもらおう雰囲気作りと追体験をすることや、相談者の感情を拾うことができるよう丁寧な傾聴を心がけよう意識しました。相談者自らから語ってもらえる様なラポール形成を意識しました。取り組みました。
- 特に、相談者の非言語並びに声のトーンなどを観察するよう心がけました。
- 常にハンドルを持たずに一緒になって追体験を意識する雰囲気になるような心掛けで面談に当たりました。
- システマティックアプローチのプロセスを理解しながら、相談者の訴えていることを短く要約することを意識し毎回確認できることを学習することができました。
- CC視点の問題点を確認することで、自己理解と仕事理解並びに中長期キャリアプランのどれが不足しているかを意図しながら質問し、本人に気づいてもらうアプローチをするように取り組みました。目標と方策は、誘導せず常に相談者主導のもと質問をしながら面談をすすめました。

■ 受検される方へメッセージ

- 信頼できる指導者である1級技能士資格者を見つけることにより、相互確認することで目標のゴールにたどり着けることが大事と思われれます。
- 面接試験の評価区分をしっかりと理解させてくれて、それをわかりやすく説明できる指導者のもとレッスンをおこなうことです。特に重要な、関係構築力と問題把握力をしっかりと何度もレッスンすることで実力がつきます。試験の7日前までは徹底的に繰り返しロープレのレッスンする事で体に染みついてきます。
- さいごに継続は力なりといいます。ゴールに向けて絶対にあきらめないことです。自分を信じて努力を重ねた結果が2級合格です。